

平成30年1月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

平成30年1月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成30年1月17日(水) 午後4時 開会
場 所	新潟市役所本館講堂
日 程	第1 会議録署名委員の指名 第2 報告 ・新潟市の目指す一貫教育の進捗状況について……………1 第3 次回日程 2月定例会 平成30年 2月 7日(水) 午後3時30分 3月定例会 平成30年 3月14日(水) 午後3時30分 第4 閉会

報 告

新潟市の目指す一貫教育の進捗状況について

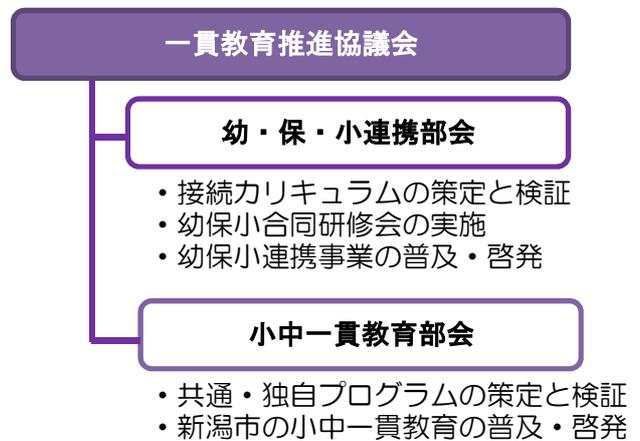
(新潟市教育ビジョン 基本施策5-1, 5-2)

教育総務課教育政策室

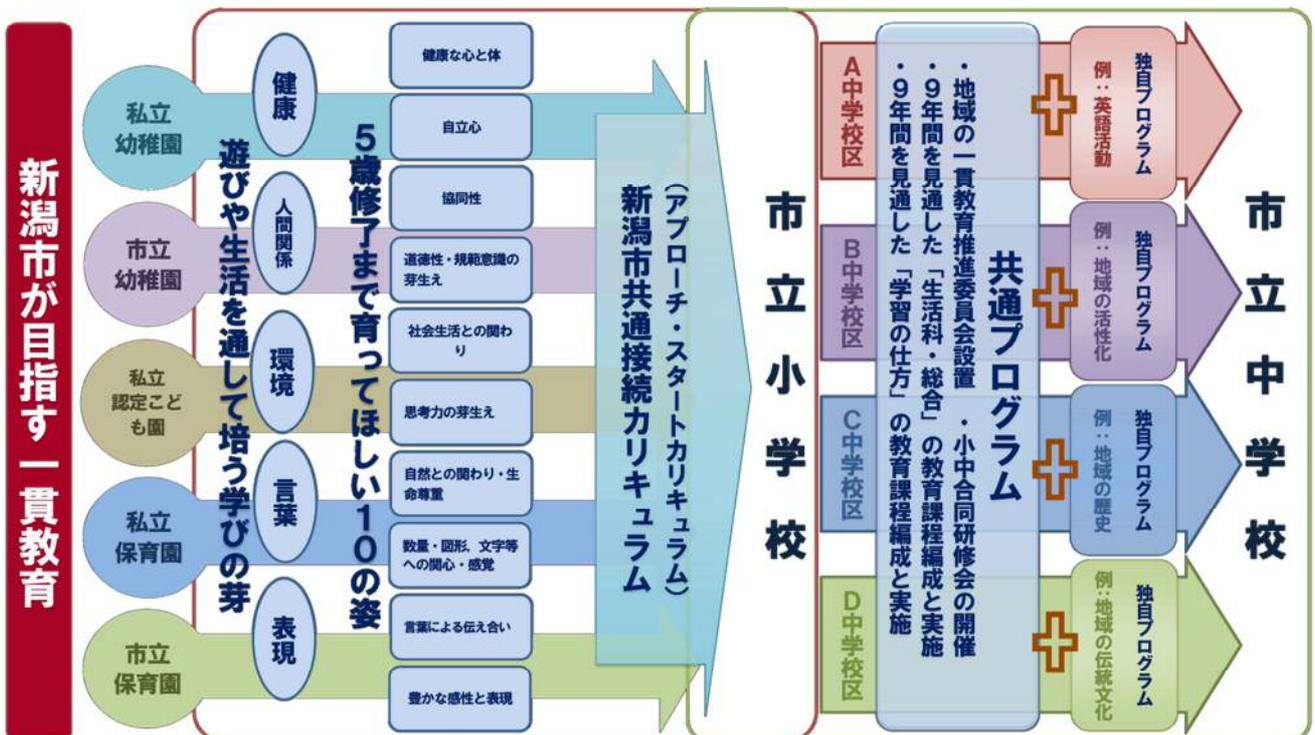
1 新潟市の目指す一貫教育の目的

- 確かな学力の獲得
 - ・ 社会の変化や新たな課題に対応できる生きて働く力の獲得など
- 学校（園）間の滑らかな接続
 - ・ 不登校やいじめ問題の早期発見・即時対応, 小1プロブレムや中1ギャップの解消など
- 教職員の資質の向上
 - ・ 教育関係職員の専門性・指導力の向上, 異なる学校（園）種理解促進など

2 一貫教育推進の体制と組織



3 新潟市の一貫教育のイメージ



4 推進スケジュール



5 幼・保・小連携部会の進捗状況

(1) 新潟市共通接続カリキュラムの策定について

- ・アプローチカリキュラムは部会案が完成し、千葉大学砂上准教授の指導を受け修正中である。
- ・スタートカリキュラムは新たに5名の小学校教諭を部会に迎え、30年度に作成予定である。
- ・1月の部会より上越教育大学長谷川特認教授からアドバイザーとして部会に参加していただく。

(2) 事業の普及・啓発について

- ・以下のモデル校において公開保育を実施し、カリキュラムの検証と事業の周知を図っている。

平成29年度モデル園	平成30年度モデル園
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小合東幼稚園（秋葉区） ・市立八千代保育園（中央区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人恵愛学園愛泉こども園（中央区） ・市立あじほ保育園（南区）

6 小中一貫教育部会の進捗状況

(1) すべての中学校区で実施する共通プログラムについて

以下の4つを共通プログラムとし、全中学校区での実施に向けて準備を進めている。

- ① 地域の一貫教育推進委員会設置
- ② 小中合同研修会の開催
- ③ 9年間を見通した「生活科・総合」の教育課程編成と実施
- ④ 9年間を見通した「学習の仕方」の教育課程編成と実施

(2) 事業の普及・啓発について

- ・以下のパイロット校において実践を進め、プログラムの検証を行っている。
- ・パイロット校の実践の成果をまとめたリーフレットを今年度末に発行予定である。

平成28年度パイロット校	平成29年度パイロット校
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟柳都中学校区（中央区） ・両川中学校区（江南区） ・味方中学校区（南区） ・潟東中学校区（西蒲区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・木崎中学校区（北区） ・東石山中学校区（東区） ・新津第一中学校区（秋葉区） ・赤塚中学校区（西区）

独自プログラム

中学校区の課題やこれまでの取組を踏まえた小中連携した活動を行います。



いじめゼロ集会



挨拶運動

新津第一中学校 新津第一小学校 新津第三小学校

新津第一中学校区(第一小学校・第三小学校)では「プロジェクト」と称し、独自の小中一貫教育を推進しています。
6つの部会(学習・生徒指導・特別活動・総合学習・特別支援・教務)で連携した取組を行っています。全家庭への学習リーフレット配布、小中連携挨拶運動、中学校いじめゼロ集会への小学生的の参加などの活動を通して、保護者の願いである「思いやりがあり、進んで学習する子ども」の育成を図っています。

両川中学校 両川小学校

両川小学校・中学校では、学力向上・生徒指導・健康保健・特別支援の4部会で、小中一貫教育に取り組んでいます。学習スタンダードを共通で作成したり、家庭学習課題連動型と生活リズム週間とを連動させることで、望ましい学習習慣と生活リズムの育成を図っています。
また、朝のあいさつ運動やUDチェットリストの作成を合わせて行っています。「両川を誇り、挑戦しつづける たくましい子」の育成を目指し、9カ年を貫いています。



取組を伝える印刷物



学習発表会



プロジェクト会議



合同研修会

東石山中学校 東中野山小学校 南中野山小学校

3校の連携と接続をより緊密にし、中学校区の「共通性」と各学校の「独自性」のある持続可能な「ゆるやかな一貫」を創り出すプロジェクトを立ち上げ、「自尊感情の向上」を目指した独自プログラムの策定と一部試行に取り組んでいます。

- ①「学力向上プロジェクト」を
取り入れた学級づくりの共通実践
- ②向社会的行動を促すスキル学習
(「社会性と情動の学習」の共通実践)
- ③3校で身に付けたい「品格」を決め、期待される
行動指標を子どもたちと共に設定し、
学校・家庭・地域での実践を促す「品格教育」の実践

平成29年度は、4回の合同研修会とプロジェクトチームの会議を開き、「一貫教育の趣旨と目指す方向」を育みたい資質・能力の共通理解、各プロジェクトの内容の検討を進めました。



画像が写いので、高解像度の画像がありましたらお送りいたします。

新潟市の小中一貫教育

新潟市の小中一貫教育は、中学校区ごとに行います。中学校区ごとに目指す子どもの姿を設定して、9年間の指導を通して姿を実現します。本リーフレットには、新潟市の目指す小中一貫教育の例として、8つのハイレット中学校区の取組を掲載しました。

新潟市では、全ての中学校区で取組む共通プログラムと中学校区ごとに取り組む独自プログラムを組み合わせて実施します。

平成32年の全市展開を目指して、各中学校区でできることから始めましょう。

一貫教育の目的は？

※新潟市の一貫教育には、幼稚園、保育所、認定こども園と小学校の連携も含まれます



経過と全市展開までのスケジュールは？ (平成29年12月現在)



平成32年度より全ての中学校区での実施を目指しています。

4つの共通プログラム

9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間

生活科や総合的な学習の時間の教育課程に中学校区ごとの目指す子どもの姿を実現するための活動を位置付けます。



外国人に、下町を英語で分けて



イベントの開催



班別地域探検



新潟柳都中学校 日和山小学校

総合的な学習の時間における小中一貫として、「地域」に関する単元を核として、小学校3年から中学9年までの7年間を設定しています。小学校では地域を偉人・地理・歴史・福祉などの意から「知る」ことで、地域への愛着や興味・関心を高めています。中学校では、小学校で学んだことをさらに深めるとともに、生徒自ら考え、創造して地域に貢献しています。さらに地域の活性化のために地域の良さを生徒の学びを「発信」しています。

また、それらの中にはヒアサポートの考えから、小中学生がともに活動します。活動の連続性は驚くほどつづらぬので、今後は、目指す姿に系統性を持たせ一貫教育を推進していきます。

味方中学校 味方小学校

味方中学校区では、2年前の小中一貫教育パイロット校指定を機に、育てたい児童生徒像を地域と共有しました。

その一つが「味方に誇りをもち、自分に自信をもって日本や世界で堂々と活躍できる子」です。小中で一貫教育ビジョンを確立すると共に、9年間の連続性を大切にしたい生活科・総合的な学習の時間を組んでいます。味方には地域の誇りを三つの教育資源があります。

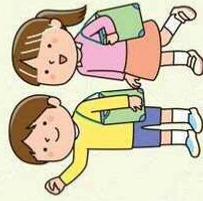
一つ目は、地域の伝統行事「白根大黒合戦」です。二つ目は、国の重要文化財「白根川」です。三つ目が、味方の生んだ偉人「平澤興氏」です。地域の大人や他校の児童との交流を大切にしたい「体験」に「学び」とおとし、子どもたちに味方への誇りと愛着、自分への自信を育てていきます。



「白根川」でのボランティアガイド



「平澤興氏」について深山小学校の児童に説明



小中一貫教育ビジョン

市内全ての中学校区で取り組んでいただくプログラムです。

中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会



地域連携会議（一貫教育推進委員会）
湖東地区教職員協議会

小中一貫合同研修会



湖東中学校・湖東小学校

平成28年度に湖東・湖東西・湖東南小学校の3校が統合し、湖東小学校が開校しました。平成35年度には、湖東中学校校地内に湖東小学校が新築され、一体型の校舎に生まれ変わる予定です。現在「小・中併設校」として、その基本設計の策定が進められています。

そのような中、地域にとって望ましい児童生徒像を構築するため「湯つ子9か年の学び」を地域の皆様と共に検討を重ねています。具体的には、小中学校職員で構成されている、既存の「湖東地区教職員協議会」を中核にして推進しています。協議された内容は、コミニティ・自治会・育成協会の地域代表の皆様へ伝達すると共にご意見を頂戴しながら理解を得ています。さらには、策定された内容を「湖東地区地域連携会議」において、進捗状況や内容を伝達し理解を得ながら当学区にふさわしい小中一貫教育を自働しています。

小中の教職員が共に学ぶ場を設定し、互いの良さを取り入れながら力を高めます。

木崎中学校・木崎小学校・笹山小学校

木崎中学校区では、「自己肯定感をもち、協働する力を発揮する」児童生徒の姿を目指し、「やればできる。誰かの役に立つ」を合い言葉に、4つの部会を組織して小中一貫教育を推進しています。

小中合同研修会の一つ、7月10日に学向上部が実施した「授業づくり研修会」では、木崎中学校生クラスの授業を公開し、木崎小学校、笹山小学校の先生方も参加しました。その後公開授業ごとに分かれて「KPT法」を用いての協議会をもちました。協議会後の全体会では、児童生徒が主体的に学ぶために、「学習課題の質を高め、提示に工夫をすることが重要であること」。「そのことを小中共通に意識した授業づくりを今後推進すること」を確認しました。

9年間を見通した学習の仕方



授業の進め方、授業のきまり、家庭学習の約束などを設定し、中学校区で足並みをそろえて実施します。

赤塚中学校・木山小学校・赤塚小学校

赤塚中学校区では、小中学校が連携し、「赤塚中学校区学習スタンダード」を作成しました。学校での学習の仕方について、授業中の姿勢、話し方、聞き方など、これだけは身につけてほしいという内容を示しています。また、家庭学習の仕方について、自分で計画を立てて学習ができるよう、学年毎の目安となる時間や学習に取り組み心構え、学習の例を示しています。小中学校の全教室に掲示するとともに、各家庭にも配付し提示をお願いします。小学校と中学校、そして家庭が共通認識の下で指導する中で、自ら明確な目的をもち、主体的に課題解決に向かって、仲間とともに最大限努力する子どもの姿を目指しています。

「新潟市共通接続期カリキュラム」～自園化するためのデザイン 【5歳児後期 保育園・幼稚園・認定こども園】 アプローチカリキュラム

スタートカリキュラム【6歳児 小学校入門期】

<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;"> 暫定版 2017年8月現在 </div>		<div style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;"> かかわる力の基盤づくり </div>						<div style="text-align: right; font-size: 0.8em;"> 学びの芽生 </div>
		月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
子どもの姿 経験する重点内容 <small>【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】</small>		友達に気持ちを伝え、遊びを進める。		目的をもち、友達と互いに思いや考えを伝え合い、遊びを進めることを楽しむ。		1年生になることに期待をもち、園生活を楽しみ、		
関わりの中で、互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。 <small>【3 協同性、4 道徳性・規範意識の芽生え】</small>		友達と思いを出し合いながら協力して遊びに取り組み、充実感を味わう。		友達と一緒に遊ぶ中で思い通りにならなくても気持ちを切り替えて遊んだり、トラブルになっても折り合いを付けようとする。		自分で考えたり友達と声をかけ合ったりして時間を意識しながら生活しようとする。		
意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。 <small>【9 言葉による伝え合い】</small>		友達(グループ)と同じ目的をもって取り組む中で、自分なりのイメージを言葉で表現したり、教師や友達の話聞いて課題を乗り越えようとする。		自分の思いや考えを友達に分かるように話したり、友達の話聞いてたりして理解しようとする。		園での楽しかったことや小学校へ行ったら楽しみなことを周りの人に伝え合う。		
成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 <small>【2 自立心、5 社会生活との関わり、8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】</small>		小学校職員に親しみをもつ。		小学校を訪問し、小学校の環境を知る。		小学生との交流を通して、小学校に対して親しみや憧れをもつ。		生活習慣の確立や生活のリズムを整え、小学校生活への見通しをもつ。
小学校・他園との交流活動		小学生との交流 (小学校の場や児童・先生に親しみをもてるように)		近隣園との交流 (地域の同年齢の友達に親しみをもてるように)		小学生との交流 (小学校の場や児童・先生に親しみや憧れをもてるように)		小学校体験入学【1年】 (小学校入学に期待が膨らむように)
行事等								修了式・卒園式
小学校・他園との連携 保護者との連携		保育士体験会		公開保育による合同研修		入学前情報交換会		
		就学時健康診断での交流		就学時健康診断後の懇談 (就学に向けて)		学級・個別懇談会 (早寝・早起き・しっかり朝食等の生活習慣、準備)		

<div style="text-align: right; font-size: 0.8em;"> 自覚的な学び </div>	
月	4月
子どもの姿 経験する重点内容	心をほぐし、学校に対する安心感をもち、先生や友達と仲良くする。
かかわりの中で、互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。	学校生活のルールを身に付け、学習規律や集団行動の仕方を守って行動する。
意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。	学習に興味をもつ。
成長を自覚し、小学校生活に適應する。	入学式 1年生を迎える会 6年生との交流 登校までの交流
交流活動	5歳児旧担任による活動 (不安の解消となるように)

〈留意事項〉 ※上記の子どもの姿や活動は、自園化するための参考例である。園や小学校の実態等に応じて、内容や表記等を変えて自園化することを前提として作成した。